



# 平成29年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社 マサル  
 コード番号 1795 URL <http://www.masaru-co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 苅谷 純

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 近藤 雅広

TEL 03-3643-5859

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	5,416	1.7	318	34.1	319	38.0	137	1.3
28年9月期第3四半期	5,509	17.6	237	17.7	231	20.5	139	1.5

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 153百万円 (25.4%) 28年9月期第3四半期 122百万円 (22.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	30.62	
28年9月期第3四半期	31.01	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	8,714	3,447	39.6
28年9月期	7,453	3,392	45.5

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 3,447百万円 28年9月期 3,392百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		0.00		22.00	22.00
29年9月期		0.00			
29年9月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,660	9.8	418	28.7	408	29.6	195	48.3	43.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	4,505,757 株	28年9月期	4,505,757 株
期末自己株式数	29年9月期3Q	13,348 株	28年9月期	13,249 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	4,492,464 株	28年9月期3Q	4,492,687 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日において入手可能な情報に基づき算定しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって数値予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、海外経済の回復を背景に企業収益が改善し、雇用情勢も引き続き改善するなど、緩やかな回復基調が続きました。一方、米国の新政権運営の停滞、英国のEU離脱具体化に向けた動き、東アジア地域の不安定な情勢などから、国内外経済の先行き不透明感は強まりました。

建設業界におきましては、建設投資が建設費高騰等により停滞しており、民間建設工事の着工面積は前年比横這いの状況にあります。しかしながら、今後の都心部における大型開発プロジェクトを中心に、民間非住宅建設投資は増加傾向を辿り、業界全体の事業環境は回復基調が続くと予想されています。

このような経営環境のなか、当社グループは、新中期経営計画（平成27年10月～平成30年9月）の方針「革新への挑戦」のもと、将来的に予想される「激動するマーケット」に柔軟に対応できる企業を創り上げることを目指してまいります。

新中期経営計画2年目となる今年度は「誠実に、確実に、より早く」を方針として掲げ、社会的要請に応え、安全で高品質な施工とサービスを確実にスピーディーに提供し、内部統制の確実な実行とともに、業容の拡大、業績の向上を図ってまいります。「生産力の強化」では、IT導入・教育訓練強化による生産効率向上と労働時間短縮を目指してまいりました。また、協力会社での技能員雇用環境の改善、生産効率向上の取組みを強化しております。「営業力の強化」では、新規顧客開拓体制を拡充し、直接受注の強化を図ってまいりました。「現場力の強化」では、出来高の向上、原価管理の一層の適正化を目指してまいります。また、新社屋建設に伴い、柔軟な組織改編が出来る環境を整え、お客さまのニーズに積極的に応えしつつ、協力会社とともに機動力を発揮し、業績の向上に努めてまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は73億40百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。売上高につきましては、54億16百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。利益につきましては、営業利益は3億18百万円（前年同四半期比34.1%増）、経常利益は3億19百万円（前年同四半期比38.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億37百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (建設工事業)

売上高は49億18百万円（前年同四半期比1.8%減）となり、セグメント利益は2億48百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。受注高につきましては、67億98百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。

#### (設備工事業)

売上高は5億2百万円（前年同四半期は5億2百万円）となり、セグメント利益は70百万円（前年同四半期はセグメント利益3百万円）となりました。受注高につきましては、5億41百万円（前年同四半期比148.9%増）となりました。

なお、当社グループでは每期3月に完成する工事の割合が大きいことから、通期の売上高に比べ、第3四半期連結会計期間の売上高は著しく低くなっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資 産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は77億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億79百万円増加いたしました。これは主に未成工事支出金が増加したことによるものであります。固定資産は、9億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円増加いたしました。

この結果、総資産は87億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億60百万円増加いたしました。

(負 債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は50億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億89百万円増加いたしました。これは主に未成工事受入金が増加したことによるものであります。固定負債は、1億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億84百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は52億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億5百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は34億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は39.6%（前連結会計年度末は45.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月1日に発表いたしました連結業績予想からの変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,446,524	994,820
受取手形・完成工事未収入金	1,431,699	1,841,323
電子記録債権	502,095	585,672
未成工事支出金	2,881,884	3,890,682
材料貯蔵品	9,126	9,073
その他	267,134	397,039
貸倒引当金	△942	△1,182
流動資産合計	6,537,521	7,717,428
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物(純額)	94,059	15,659
土地	407,655	447,020
建設仮勘定	—	35,798
その他(純額)	10,867	8,249
有形固定資産合計	512,582	506,728
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	2,558	3,183
ソフトウェア仮勘定	—	6,613
その他	6,689	0
無形固定資産合計	9,248	9,797
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	70,857	94,493
長期貸付金	23,323	18,100
その他	372,812	440,246
貸倒引当金	△72,360	△72,359
投資その他の資産合計	394,632	480,480
固定資産合計	916,463	997,006
資産合計	7,453,985	8,714,435

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年 9 月 30 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成29年 6 月 30 日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	974,522	1,021,545
電子記録債務	—	53,566
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	525,664	543,089
未払法人税等	162,374	10,117
未成工事受入金	1,700,656	3,181,277
役員賞与引当金	79,750	—
賞与引当金	93,637	36,281
工事損失引当金	6,377	14,107
完成工事補償引当金	19,423	17,956
その他	115,946	140,071
流動負債合計	3,678,351	5,068,012
固定負債		
長期借入金	329,225	137,731
その他	53,585	60,822
固定負債合計	382,810	198,553
負債合計	4,061,161	5,266,566
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,697	885,697
資本剰余金	1,261,600	1,261,600
利益剰余金	1,246,047	1,284,749
自己株式	△4,702	△4,757
株主資本合計	3,388,641	3,427,288
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,181	20,580
その他の包括利益累計額合計	4,181	20,580
純資産合計	3,392,823	3,447,869
負債純資産合計	7,453,985	8,714,435



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
完成工事高	5,509,251	5,416,957
完成工事原価	4,649,538	4,432,616
完成工事総利益	859,712	984,341
販売費及び一般管理費	622,249	665,939
営業利益	237,463	318,401
営業外収益		
受取利息	448	268
受取配当金	2,199	2,362
受取賃貸料	1,816	2,699
助成金収入	—	2,957
その他	1,882	1,592
営業外収益合計	6,347	9,879
営業外費用		
支払利息	10,621	6,616
その他	1,323	1,794
営業外費用合計	11,944	8,411
経常利益	231,865	319,869
特別損失		
固定資産売却損	12,406	—
固定資産除却損	—	11,458
減損損失	—	97,430
特別損失合計	12,406	108,888
税金等調整前四半期純利益	219,458	210,981
法人税、住民税及び事業税	36,141	46,009
法人税等調整額	43,993	27,434
法人税等合計	80,135	73,444
四半期純利益	139,323	137,537
親会社株主に帰属する四半期純利益	139,323	137,537

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	139,323	137,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,609	16,398
その他の包括利益合計	△16,609	16,398
四半期包括利益	122,713	153,935
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,713	153,935

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。